

ALPS 処理水希釈放出設備 現地確認結果 報告書(概要)

確認年月日	令和5年9月14日(木)	確認目的	海洋放出終了後のALPS処理水希釈放出設備点検状況の確認	
確認箇所	5, 6号機敷地護岸ヤード、ALPS処理水移送配管			
確認設備	<input checked="" type="checkbox"/> 測定・確認用設備	<input checked="" type="checkbox"/> 移送設備	<input checked="" type="checkbox"/> 希釈設備	<input type="checkbox"/> その他

ALPS処理水の希釈放出は今年度4回計画されており、現在2回目の放出に向けて放水立坑(上流水槽)内を確認するため、内部に溜まった水を放水立坑(下流水槽)に移送する作業が9月12日から実施されていることから、前回(9月12日)に引き続き現場の状況を確認した。

また、9月6日にALPS処理水希釈放出設備の移送配管において、屋外ペント弁フランジ部の漏えい警報が発生したことから、東京電力は調査のために当該部分を開放し、その後、弁保温材の復旧作業が行われていたことから、前回(9月13日)に引き続き現場の状況を確認した。

【多核種除去設備等処理水希釈放出の準備作業の状況】

- ・ 水の移送に使用していた耐圧ホース等が撤去されており、上流水槽の開口部から内部を確認したところ、床面が視認できる程度まで水位が低下していた。(写真1)

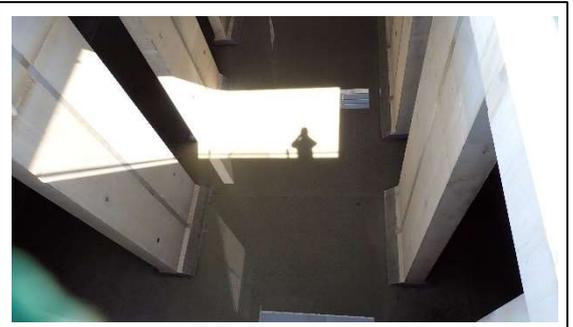
【多核種除去設備等処理水希釈放出設備移送配管ペント弁の状況】

- ・ 当該ペント弁には防水カバーが設置され、さらにビニールシートにより2重に養生されていた。(写真2)

確認結果



(写真1-1) 上流水槽蓋開口部付近の状況



(写真1-2) 上流水槽内部の状況



(写真2) 漏えい検知器が発報したペント弁の復旧状況